

2021/6/5

(うとQ世話し 副反応(作用) )

「ワクチン接種、99.2%副反応(作用)なし」

という記事が在る一方

「ワクチン接種後、58人が死亡」

という記事もあります。

いずれも我が国でのお話です。

この二つの記事を見て、高齢者枠で既に予約案内はかなり前に受け取ってはいるものの、呼吸器系基礎疾患が二つある自分はワクチンを接種しに行っても良いものか、行かない方が良いのか分からなくなってしまい、未だ予約手続きを行っていません。

一方、ワクチン接種の副反応(作用)は色々取り沙汰され、問題視されますが、インターネットやスマホ、SNSがとても便利である一方、可成りの副反応(作用)を産んでいる事には余り言及されていません。

特にネットを含めた誘導型メディア(特に広告領域)に於いては。

そうして相も変わらずの、報道系メディアの同一媒体による時間差を置いた両論併記で、一体どちらが正しいのか益々分からなくなってしまいます。

かてて加えて、毎度おなじみのマッチポンプ。

即ち自分で焚きつけておいて、最後は火消しに回り「どうだ、スゴイだろう」と自らの手柄を誇示するのも十年一日の如く変わっていません。

なので、この際ですからワクチン接種後の副反応(作用)の実質値がどうなのかをきちんと見極めるために、逆に情報提供媒体や道具であるネット、スマホ、SNSの視聴取を一旦手控え、様子見をしてみたいかかと思っております。

そうでないと、ワクチンを摂取の予約可否について、却って情報過多で判断が付きかねてしまいますので。

老い先短く、継ぎ接ぎ(つぎはぎ)だらけのオンボロとはいえ、たった一つしか無い命。

まだまだ「無駄には」落とたくはありませんもの。